

宮島包ヶ浦自然公園

包ヶ浦自然公園は広島湾で最大級の島・宮島の北東部にあり、宮島栈橋旅客ターミナル付近の市街地からは離れています。公園は島の人口密集地から離れた場所にあるので、ここを訪れると宮島の手つかずの環境に囲まれることになります。包ヶ浦自然公園には栈橋からバスか、公園の職員が運転するシャトルバスでアクセスできます。

公園のキャンプ場ではテントやハンモックをレンタルできます。4 名まで滞在できるプライベートケビンも 16 室あり、いずれも専用の浴室とキッチンエリアが完備しています。ドミトリー風の 2 段ベッドと共用リビングエリアが完備したもっと大きなこの公園の団体ケビンは、キャンプを好まないお一人での旅行者に理想的な宿泊施設です。

公園内にはレストラン・ほしのしずくがあり、地元の海産物や広島県の特産料理を提供しています。より体験重視の食事として、マルアキ水産のカキ小屋では、瀬戸内海を眺めながら地元で採れたカキを自分で調理できます。公園でのピクニック向けに携帯用バーベキュー器材もレンタルできます（事務所ではそのままバーベキューができる食材を販売しています）。

公園内には長さ 200 メートルの砂浜である包ヶ浦海岸があり、入り江の水深は浅いので泳ぐのに最適です。公園では釣具もレンタルでき、本物の愛好家なら船のハイヤーまで可能です。ランチより景色という方は、クルーザーを雇って島を一周できます。公園にはスポーツ用のグラウンドや、標準サイズのテニスコートも整備されています。

公園の西端には包ヶ浦自然歩道のスタート地点があります。3.2 キロの遊歩道を進むと、奥まった森を抜け、楓の木が林立する終点の紅葉谷公園に辿り着きます。宮島の野生の鹿はフレンドリーで人間に慣れていますが、遊歩道や、あるいは包ヶ浦自然公園そのものの周辺でよくその姿が見られます。